

視聴覚教育

NO. 372

発行日

23. 5. 20

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

『インストール』

アプリケーションソフトウエアなどをコンピュータに導入する作業のこと。インターネットからダウンロードしたプリントドライバを使えるようにするにもこの作業が必要である。

ICTの日常的・積極的活用

現職研修委員会学習情報部長 内田 義和

三月十一日に発生した未曾有の地震と大津波は、そこに生活する人々の全てを一瞬にして破壊しました。さらに、原発事故と放射能汚染は、私たちにとって大きな衝撃となりました。被災の様子は、全世界に報道され、それに呼応して遠く離れた地からも救援の手が差し延べられています。

一方、「福島県から千葉県船橋市に避難してきた小学生が『放射能がうつる』といじめられ市外へ引越した」という報道がありました。ところが、「これは新聞がガセネタをつかまされた」との指摘がネット上に掲載されています。多様なメディアによって私たちは多くの情報を短時間に得ることが出来ます。しかし、それらの情報は有効性と危険性を併せもっていることを忘れてはなりません。メディアは、素材を強調や省略をしたり、取捨選択したりすることで、情報を刺激的にしたり、口当たりをよくしたりしている面があるからです。

さて、新学習指導要領では、全科領域でICT（情報通信技術）活

用による授業改善を一層進め、子供たちの学習活動の充実を図り、ICT活用能力を育てていくことが求められています。ただし、ここに至って大災害からの復興が教育においても喫緊の課題となっているので、予算も含めた国の動向が気になるところではあります。しかし、年度当初の文部科学省の「学校教育の情報化に関する懇談会」では、情報活用能力を育むことは「生きる力」に資するという認識が確認され、「教育の情報化」を一層推し進めていく方向が示されています。

教育の情報化が「生きる力」に資するためには、ICTの日常的かつ積極的な活用が欠かせません。大型デジタルテレビやパソコンが教室に設置されている岡崎市立小中学校の学習環境を最大限に生かし、普段の授業の中で、情報活用能力、メディア・リテラシー（情報評価・判断能力）、情報モラルを高めて行くことで、次代を担う岡崎の子供の「生きる力」を育てていきたいと考えています。



Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

平成二十三年度 学習情報部方針決定！

研究主題

デジタル社会における豊かな学びとメディア利用のあり方を追究しよう

研究の重点

① 岡崎市教育ネットワークの利用環境整備と活用法の研究

② 校内ローカルエリアネットワークの利用環境整備と活用法の研究

③ 50インチデジタルテレビなどの視聴覚機器やコンピュータの効果的な活用法の研究

④ 授業で活用できるデジタルコンテンツの収集と活用法の研究

⑤ パソコン教室の総合的な管理・運営方法の工夫

⑥ 学校教育放送や教育チャンネル、校内放送の活用法の研究

⑦ 情報モラルの育成や情報のセキュリティ意識の向上のための工夫

主任会の活動

〔広報部会〕：授業実践や研究集積、研究誌や月報の発行、学習情報部HP管理、各学校のホームページの充実など

〔研修部会〕：各学校での研修推進、学習ソフトの活用促進、NHK学校放送番組関連連表の作成、機器調査など

〔教科部会〕：「視聴覚教材・機器利用の手引き」の原稿執筆と発行、視聴覚機器やコンピュータ教材を活用した授業実践や情報モラル教育の授業実践など

平成二十三年度組織

視聴覚ライブラリー

所長（教育長）

江村 力

副所長

宮田 典彦

専門主事

本間 茂夫

職員

服部 光晴

前川 友希

太田ますみ



学習情報部組織

部長

内田 義和（葵中長）

丸尾 光司（常磐南小長）

平岩 和博（宮崎小長）

担当指導主事

小田 哲也（教育委員会学校指導課）

指導員

島田 繁直（六名小）

森 竜師（羽根小）

世話係

内田 雅之（井田小）

杉山 康子（生平小）

寛 哲也（南中）

川本 祐二（美川中）

各部世話係

〔広報〕井上 清美（夏山小）

内田 雅之（井田小）

神野 裕美（六西小）

〔研修〕近藤 雄一（東海中）

鈴木 広樹（六中小）

佐々木幸美（男川小）

寛 哲也（南中）

川本 祐二（美川中）

寛 哲也（南中）

〔教科〕山口 秀樹（根石小）

服部 将也（葵中）

杉山 康子（生平小）

三輪 恭之（六ツ美中）

今井 丈晴（岩津中）

三輪 恭之（六ツ美中）

《研究会》

・三教研自作視聴覚教材研究会

（八月月上旬 安城市）

・愛知県放送教育特別研究会・東海北陸地方放送教育研究大会

（八月一九日 名古屋市）

※共に岡崎の先生の提案があります。

・愛知県学校視聴覚教育研究大会

（一〇月 豊川市立御津中学校）

この他、本年度も多くの大会や研究会が予定されています。是非ご参加ください。

《研究論文》

・インターネット活用教育実践

・インクルール

・松下教育研究賞、松下教育研究助成応募

・東京書籍教育賞

・上月情報教育研究助成

・ちゅうでん教育振興助成、ちゅうでん教育大賞

・実践事例アイデア集（小学校）

県や市の教育論文をはじめ多くの応募機会があります。日頃の実践成果をまとめてみましょう。

《コンクール》

・ふるさと岡崎メディアコンクール

・NHK杯中学校放送コンテスト愛知県大会

・RSO「育て！プリントコミュニケーション」コンクール

・全国子供科学映像祭 など

※児童生徒の作品コンクールも多数あります。

参加してみませんか。

ライブラリーだよ

新年度がスタートしました。ライブラリーでは、機器・教材の活用について、社会教育・学校教育関係者のサポートをしています。ご利用をください。

●教材・機材をご利用ください

昨年度に購入したDVD教材の貸し出しも開始しました。百六十タイトル以上あります。「視聴覚教材・機器利用の手引き」にソフト一覧が掲載されています。大型デジタルテレビの視聴覚教材として、お昼の校内放送用として、ぜひご利用ください。

●視聴覚ライブラリーリクエスト講習会

撮影、編集や番組制作の支援を行います

●情報モラル出張講座を行います

子供たちによるビデオ制作、先生方へのビデオ制作講習会等のお手伝いにライブラリー職員が伺います。また、学校行事等の撮影、編集や番組制作の支援も行います。視聴覚ライブラリーにご相談ください。（ライブラリーからの貸出や教育チャンネルへの配信、ダビング利用の許可をいただける場合に限ります。）

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第16集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなどが載っており大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。

●安心ネットインストラクターを派遣して、ネット社会の危険な現状を保護者や地域の方々に伝えたり、子供たちをネット社会の闇から守っていくための具体的な手立てについて話したりします。ぜひ、お申し込みください。

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第16集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなどが載っており大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第16集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなどが載っており大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第16集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなどが載っており大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。

●「視聴覚教材・機器利用の手引き」第16集

視聴覚機器の利用の仕方や活用の実践事例、市自作ビデオ教材の活用事例と制作の歩みなどが載っており大変参考になります。市内全教職員に配布しました。ご利用ください。